

# 北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年5月6日(木)

NO. 8(通算70)

## 教育目標を考える①

文科省・県教委・市教委  
の方針から



本校の教育目標の基本理念は、「自ら考え、判断し、目標に向かい着実に努力する心豊かな心身ともにたくましい生徒を育成する」としています。そして、それを基にして、具体的教育目標(目指す生徒像)を以下のように設定しています。①たくましい体力と気力のある生徒(たくましい生徒) ②粘り強く自主的に学習に励む生徒(かしこい生徒) ③思いやりの心でみんなのために尽くす生徒(心豊かな生徒)

これらのことは、文科省や県教委、市教委の方針を受けてつくられたものです。

文科省の目標は、学校教育法や学習指導要領に記述されています。①「生きる力」の育成(「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力」「自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」をバランスよく育む)②「基礎・基本」の確実な習得(「基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の諸能力の向上」及び「自ら学ぶ意欲の向上」を特に重視)

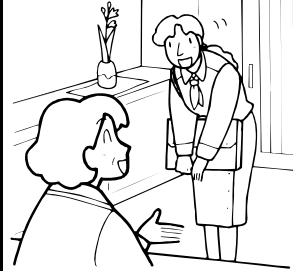


群馬県教育委員会では、「生きる力」の育成を①授業の充実②組織マネジメントの充実③家庭・地域等との連携・協力を通して目指すことを「学校教育の指針」の中で明確に示しています。

藤岡市教育委員会でも、①学年・学級経営の充実②教師力・組織力の向上③家庭・地域との連携を基本に「高い知性、豊かな情操と徳性、たくましい意志と優れた創造力をもった心身ともに健康な児童生徒の育成」を掲げています。

以後何号かにわたって、本校の教育目標に関わった事項について、説明させていただきます。ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

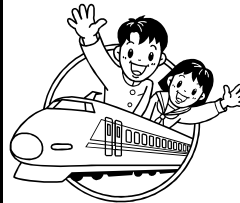
## 家庭訪問



家庭訪問、お世話になります。職員には、以下のような家庭訪問の意義を知らせてあります。ご理解のうえ、有意義な時間になりますようご協力をお願いいたします。

- (1)相互理解・・・学校と家庭との相互理解。よりよい人間関係や相互の教育態勢の醸成を図る。
- (2)学校理解・・・各家庭に学校の教育方針や教師の教育的な考え方等の理解を図る。
- (3)生徒理解・・・教師と保護者の間での新しい見方で生徒の実態を共通理解する。
- (4)情報・・・保護者の教育観や学校に対する期待を理解し、不安等の解消を図る。等々。

## いよいよ修学旅行 でもその前に要チェック！！



3年生は、5月25日(火)から2泊3日で、奈良・京都への修学旅行が実施されます。普通は思い出深い、楽しい旅行になるはずですが、体調を崩したり、他校生徒とのトラブルや思いがけない事故等があったりすることも考えられます。

全員の生徒が安全で、楽しい旅行にするためには、基本的な生活習慣を守り、日ごろ先生から注意されていることや服装・頭髪など学校の決まりを守ることが大切です。服装や頭髪の乱れがあると、見知らぬ人から声をかけられたり、因縁をつけられることがあります。市内の中学生で、腰パンや短いスカートをはいていて、実際にトラブルにあった生徒がいます。

旅行中だけ守るのではダメです。普段から守れない場合は、残念ながら修学旅行への参加を遠慮してもらうことになります。この点につきましても保護者の皆様にはご理解をいただき、子どもさんへの指導をお願いします。修学旅行を契機に、「だめなものだめ」とはっきりと指導してください。